※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８度　農業科

教科	農業	科目	生活農業	単位数	２単位	年次	2･3年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業や園芸の魅力を感じ、私たちが生活していく中で、植物や動物と関わりながら、豊かな生活を送るための知識や技術を習得してほしい。
また、農業の分野だけでなく、医療や福祉の分野にも活用できるように体験的な学びを通して資質や能力を養ってほしい。

2　学習の到達目標

・植物の分野では野菜や作物の栽培について、播種から収穫、加工までを通して学ぶことで、栽培技術や利用方法を習得する。さらに季節によってさまざまな種類の野菜を栽培することで特徴の違いなどを理解し知識を身に付ける。
・栽培管理に取り組む中で自然や生態系に関する思考力や分析力を養う。
・環境問題を理解し、身近に存在する課題解決に向けて生徒自ら考え、取り組む。
・生態系における生物の関わりを学び、自分たちの生活の中で「生物」がどのように活用、活躍しているのかを考え、理解する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	動植物の特徴や知識を学び、活用することができる。実習で使用する道具や植物などを正しく扱うことができ、実践的な技術を身につけている。	学んだことを生活の中でどのように活用することができるかを考え、実践できる。また、介護や福祉、健康にも関心を持ち、取り組むことができる。	他者と協力しながら課題に対して積極的に取り組む態度が見られる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	園芸作物の栽培	・野菜の栽培と活用 トマト ナス ピーマン ・草花の栽培と活用 ペチュニア マリーゴールド ヒマワリ サルビア	a:植物の生育の特徴を理解しており、栽培管理の技術を身につけている。 b:観察の記録をデータにまとめ、結果から考察できる。野菜のスケッチで特徴を捉え、表現することができる。 c:園芸に関心を持ち、知識や技術を習得しようという姿勢が見られる。道具の使い方や実習態度が適切である。授業の中で課題を見つけ、解決しようとする。	小テスト レポート 提出ノート	小テスト 観察 記録 スケッチ レポート 提出ノート	実習態度 振返りシート レポート
2学期	園芸作物の活用	・園芸デザイン 花壇づくり 園芸装飾 フラワーアレンジ ・野菜の加工と利用 漬物、ジャムづくり ハーブの活用	a:草花や野菜、ハーブの活用方法を理解し、実習を通して技術を身につけている。 b:デザインを自分で表現し、作品を制作することができる。課題にたいして工夫して解決することができる。 c:園芸に関心を持ち、知識や技術を習得しようという姿勢が見られる。グループで協力して取り組む態度が見られる。	小テスト レポート 提出ノート	小テスト レポート 提出ノート 実習態度 スケッチ	実習態度 振返りシート レポート 実習態度
3学期	動物・植物と人間生活	・動物の飼育と活用 動物がもたらす効果 飼育の方法 ・園芸療法	a:人と動植物の関わりを理解し生活に生かすことができる技術を身につけている。 b:福祉や健康における課題について、動植物をどのように活用すればよいか、考えることができる。 c:　意欲的に実習に取り組み、知識や技術を得ようとする姿勢が見られる。	小テスト レポート 提出ノート	小テスト レポート 提出ノート 実習態度	実習態度 振返りシート レポート 実習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度